

令和4年度（麻溝台高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	個人情報の取扱いについて、各教職員が日常的に点検・チェックを実施する姿勢が見られた。その結果、教職員の意識が向上し、不祥事の防止につながった。
わいせつ・セクハラ行為・パワハラ防止	セクハラ・わいせつ行為・パワハラをゼロにする。	知識・モラル上の問題については、継続的・計画的に校内研修会等を実施した。その結果、教職員の意識の向上し、不祥事の防止につながった。
いじめ・体罰・不適切指導の防止	体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	教職員対象の研修を実施し、各自の人権意識を高めることができた。その結果、教職員の意識の向上し、不祥事の防止につながった。
会計事務の適正執行	私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する。	適正な執行への教職員の意識を高め、私費会計基準に則った事務処理及び物品管理を周知した。特に、部活動費会計について、適正な会計業務を徹底した。
公務外非行	職員行動指針を再確認し、勤務時間外や職場外の行動についても、教育公務員としての高い倫理観を持って行動する。	職員啓発資料等を活用して、職員研修を実施した。その結果、教職員の意識が向上するとともに、各自が自覚ある行動に努める姿勢が見られた。
入学選抜に関わる不祥事防止	入学選抜に関わる各種業務執行について、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	入学者選抜業務、調査書の作成・発行、テスト問題の作成及び成績処理について、担当グループ又は委員会等で点検体制を確認し、必要な見直しを行った。その結果、ミスなく適正に業務を行うことができた。
経験の浅い教職員（採用5年以内）への不祥事防止	県民の信頼を損なうことのないよう、厳正な服務規律の確保に努める。	適切な機会を設けて、学校長等から個別相談等の直接指導や、啓発資料等を用いた注意喚起を行った。その結果、教育公務員としての意識の向上を図るとともに、不祥事を未然に防ぐことができた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

各取組項目について、行動計画に基づいて概ね実施できている。特に「わいせつ・セクハラ行為・パワハラ防止」については、県下で不祥事案が依然発生していることから、昨年度に引き続き防止に係る意見交換や県教委作成DVDの視聴等、職員への意識啓発を行ったが、引き続き研修等を通じ継続していく。また、I（個人情報等の管理・情報セキュリティ対策）やIV（会計事務の適正執行）については、行政事務調査(7/22実施)、財務事務調査(書面)の指摘事項に基づいて、必要な改善を行っていく。

今後もリーダーシップを発揮し、教職員一丸となって不祥事の防止に努めていきたい。